

次の集り

2023年12月10日(日) 13:30
周南市役所シビック交流室6

原発いらん!

山口ネットウラウ

2023年11月12日の報告

原発帰りの裏に
原子カムウ巨額の庫次金
425号 ⇒P⑦

代表者 小中進
〒742-1513 山口県熊毛郡
田布施町麻郷2208
Tel. FAX. 0820-55-6291
振込口座(年会費2000円)
(郵)01590-5-27469
口座名「原発いらん!山口ネット」
作製・印刷・発送
周防灘の自然を守る会
三浦 翠とメンバーズ

「六ヶ所村ラフソナー」2006.録音
ひとみ21の映画 無料上映会
11月30日 周防大島町福総合センター
12月2日 アナログ柳井
12月3日(日) 平島
12月9日(土) 祝島公民館
「中間貯蔵の先を知る日映画」
くわい時間などはイベント情報に
⇒P⑥ 又は 小中さんにTEL

中嶋県議の議会報告を同封しました。
中嶋貯蔵のことがよくわかる内容です。
裏面の諸願の採択を求める演説は自民党の県議
も、シーンとなつて耳をかたむけていました。

中間貯蔵施設建設計画をぶっとばす大集会にはよう!

2024上関原発を建てさせない山口大集会 第1回 実行委員会のご案内

各地から
あつまろう!



2023.7.18の写真

とき: 2023年12月9日(土)
10:30~12:00 (開場・準備 10:00~)

ところ: 山口市男女共同参画センター(視聴覚室)
(山口市中央2丁目5-1 山口市会館事務所2階)

わたしたちが2014年から毎年3月に行ってきた「上関原発を建てさせない山口(県民)大集会」は、コロナ禍で3年間休止しましたが、今年は4年ぶりに開催することが出来ました。県内外から800名が参加され、久しぶりの対面での集いに、多くの皆さんから「良かった」との声が上がりました。現在、連絡会では、2024年3月23日(土)、山口市維新百年記念公園・野外音楽堂(ビッグシェル)での、大集会の準備を進めています。

岸田政権の「原発帰政策」の推進、東電福島第一原発事故での汚染水の海洋放出の強行。県内では、8月に浮上した、上関町への「中間貯蔵施設」計画。上関原発計画そのものも、撤回されたわけではなく、原発をめぐる情勢は予断を許しません。

来年の大集会は「さよなら上関原発」「私たちは福島を忘れない」、そして「上関に使用済核燃料の中間貯蔵施設はいらない!」をテーマにします。ぜひとも集会を成功させ、県民の声を大きく示しましょう。

第1回実行委員会では、来年の大集会の概要の共有や、ゲストに来ていただく皆さんの動画なども見る予定です。実行委員会は、集会の趣旨に賛同される方はどなたでもご参加できます。来年の集会をめざして、みんなの知恵と力を持ち寄って頑張りましょう!

主催 上関原発を建てさせない山口県民連絡会
連絡先 安藤 TEL 080-6331-0960

お3月23日のメインゲストは

中嶋 哲演 さんです。

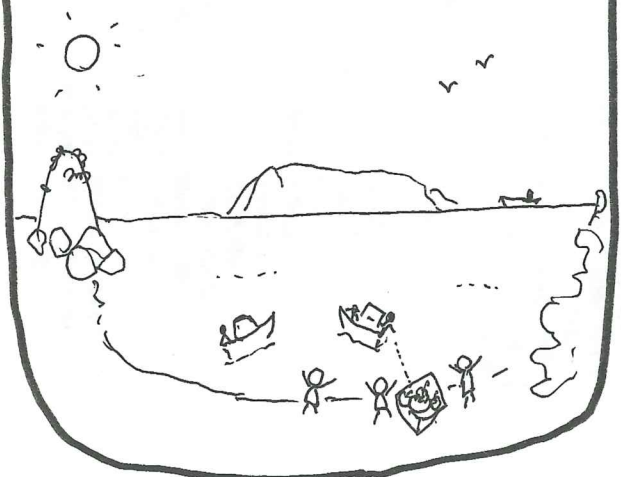
原発設置反対小浜市民の会元事務局長。
原子力行政を問い直す宗教者の会共同世話
人。原子力発電に反対する福井県民会議
共同代表委員。
真言宗明通寺住持。1942年小浜市生れ。

11月20日・中電・上関の伐採延期。

新聞記事 ↓ P②

田の浦ピクニック & ビーチクリーン

次の予定は未定です。
11月23日のようす(⇒P⑥)にあり。



第一回目の裁判では浜野勝さんと宮本輝男さんが意見陳述とされました。

◎ 浜野勝さんの意見陳述がす。

私は上関原発計画が明らかとなるや、県下の仲間と共に瀬戸内幾百万の命と暮らしを守るために反対運動に参加し、41年となります。

とりわけ、福島原発事故による福島県民の苦しみを見聞きする中で、あらためて上関原発は絶対に許されないとの思いを強くしました。

私は今83才、私の目の黒いうちに上関原発建設中止を見届けたいと願うことは私一人のわがままでしょうか。私は県民のための判決を求め、裁判所のご英断をいただくために原告の一人となりました。

ここでは村岡県知事の違法な振る舞いについては訴状で述べられていますので、私は福島事故前後の上関原発をめぐる県知事、国、中国電力の動きについて申し上げたいと思います。

原発建設をゆるした二井県知事は、福島原発事故に直面し、埋立中止を中国電力に要請し、知事退任の直前の2012年6月県議会において「埋立免許を出した知事として「新たな安全基準を満たす原子炉設置や規模が定まらなければ土地利用計画は確定しない、少なくともそれまでは公有水面埋立法の正当な事由はなく免許延長は許可しない」と表明「次の知事にも引き継いでもらいたい」と述べています。」

しかし、山本・村岡知事は中国電力の言いなりになったのです。

国も福島原発事故後12年経過するも、今だに原発の新設に触れることもできません。又「住民訴訟の会」の質問にも「原子炉設置に関わる審査基準も審査機関も無い」と答弁。今も原発の新設には触れることもできません。

2019年11月27日、村岡県知事が3回目の公有水面埋立免許延長許可をした翌日には広島大学名誉教授行政学者横山信二氏は「公有水面埋立法は環境保全や災害防止を前提としており、2008年に県が最初に県が最初に許可した時期と状況が変わっている。福島原発事故や現在の状況に基づき県は判断すべきだ」と違法性を指摘されています。

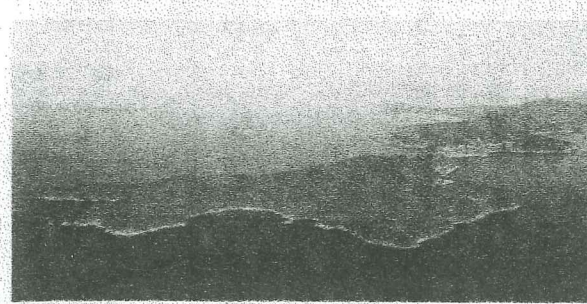
→次ページに続く。

11月22日、「埋め立て免許延長訴訟」が山口地裁ではじまりました。新聞記事↓③

②

突然の花表だった。今後の推移が注目される。

中電、上関の伐採延期



使用済み核燃料
中電が上関町に、使用済み核燃料の貯蔵施設を建設する計画をめぐり、住民側は「埋立免許を出した知事として」などと訴えている。住民側は「新たな安全基準を満たす原子炉設置や規模が定まらなければ土地利用計画は確定しない、少なくともそれまでは公有水面埋立法の正当な事由はなく免許延長は許可しない」と表明「次の知事にも引き継いでもらいたい」と述べています。」

8月2日	中電が、山口県上関町に使用済み核燃料の貯蔵施設を建設する計画を公表
8月18日	上関町が町議会を招き、中電の計画について町民の意見を聴く
8月21日	中電が町議会に説明し、町民の意見を聴く
10月10日	中電が町議会に説明し、町民の意見を聴く
10月13日	中電が町議会に説明し、町民の意見を聴く
11月19日	中電が町議会に説明し、町民の意見を聴く
11月20日	中電が町議会に説明し、町民の意見を聴く



中電は今後、周辺市町の住民側と協議を進め、埋立免許の申請を進めたいとしている。町議会は「新たな安全基準を満たす原子炉設置や規模が定まらなければ土地利用計画は確定しない、少なくともそれまでは公有水面埋立法の正当な事由はなく免許延長は許可しない」と表明「次の知事にも引き継いでもらいたい」と述べています。」

着手期限間に合わず

中電が上関町に、使用済み核燃料の貯蔵施設を建設する計画をめぐり、住民側は「埋立免許を出した知事として」などと訴えている。住民側は「新たな安全基準を満たす原子炉設置や規模が定まらなければ土地利用計画は確定しない、少なくともそれまでは公有水面埋立法の正当な事由はなく免許延長は許可しない」と表明「次の知事にも引き継いでもらいたい」と述べています。」

中間貯蔵施設 周辺市町の反発など背景か

中電は今後、周辺市町の住民側と協議を進め、埋立免許の申請を進めたいとしている。町議会は「新たな安全基準を満たす原子炉設置や規模が定まらなければ土地利用計画は確定しない、少なくともそれまでは公有水面埋立法の正当な事由はなく免許延長は許可しない」と表明「次の知事にも引き継いでもらいたい」と述べています。」

1/21 中口

2023「西瀬戸ピースサイクル」-上関〜伊方へ、報告

上関町、柳井市、伊方原発への要請申し入れ行動を行った

報告：西瀬戸ピースサイクル（上関、伊方）
ピースサイクル広島：新田秀樹、脱原発へ！中電株主行動の会：溝田一成

10月27日（金曜日）

- 7:00 廿日市発
- 9:00 柳井港集合
- 10:00 上関町への要請申し入れ
町長対応（30分ぐらい）；連絡受け入れ先＝総務課（戸村）
- 10:30～12:00 上関～柳井市 自転車でアビール
- 13:00 柳井市への要請申し入れ
部長対応（30分ぐらい）；連絡受け入れ先＝政策企画室（あいみつ）
- 13:30～14:00 柳井市内～柳井港
- 14:45 防予汽船フェリーで松山へ

10月28日（土曜日）

- 8:30 道後温泉～四電原子力本部で情宣
- 9:30～12:00 松山～伊予市・大洲市 自転車でアビール
- 15:00 四電伊方原発申し入れ（伊方から原発をなくす会）

10月29日（日曜日）

- 9:00～12:00 伊方町・八幡浜市 自転車でアビール
- 13:00 解散

ピースサイクルの10人、西町長に申し入れ。

1、上関町への申し入れ

西町長が会ってくれるというので、参加者約10名が町長室に通された。「要請申し入れ事項」読んで渡して、会談になった。

捲し立てて、原発関連の交付金がないと、上関町はやっていけない、新聞記事(中国新聞 2023.10.24)にあるように、訪れる人に説明をして理解を求めたいようであった。原子力頼るしか解決策がない。具体的な方法がないし、町の予算は約35億円、自主財源は18%で55%が交付金(2023年決算)、人口は2000人にまで割り込み、若者が町を出て行く。57%の高齢化率。今年2月に全員協議会の議員で視察に行った。それらから総合的に判断して決めたのだ。

原子力に頼っての調査の交付金1.4億円ではどうにもならないだろう。再処理できないで現場から、核のゴミを半永久的に受け入れることになり、誰も街に魅力を感じなく流出するのが見えている。中間貯蔵を受け入れないでほしいと主張してきた。



溝田さんと西町長

(溝田)

(浜野さんの陳述の続きです。)

続いて中国電力の違法性について述べます。

中国電力は2010年5月、国に「原子炉設置許可申請書」を提出。国は地震学者で「耐震意見聴取会」を立ち上げ2010年から審査を始めました。

第3回目の審査が終わったところでボーリングコアの差し替え、活断層の否定など原発の安全性にかかわる重要な問題で委員会の指摘があり「これ以上審査できない」となりました。

当時の原子力安全保安院は「中国電力は地震に対する認識が甘い」として新たな資料提出を指示しました。

中電は「ボーリング調査に6ヶ月、資料整理に3ヶ月」かかると報告。その2か月後に福島原発事故となり、いまだ「原子炉設置」については審査されていません。

南海トラフ大地震発生も30年以内との話を聞く中で、中国電力の自らの利益第一、安全無視のもと進められる上関原発は県民にとって不要です。

一日も早く上関原発計画の中止を心から願い、終わります。



埋め立て免許延長訴訟
1/23 原告側が主張
山口地裁で口頭弁論
中国電力の上関町での
原発建設計画を巡り、予
定地の海の埋め立て免許
の延長を県が許可したの
は違法として市民団体の
22人が村岡副知事に許
可に関連した経費の返還
を求めた訴訟の第1回口
頭弁論が22日、山口地裁

であった。
原告2人が意見陳述を
した。浜野勝さん(83)は
「上関原発は県民にとつ
て不要」と強調。宮本輝
男さん(67)は、埋め立て
予定地一帯の海域に多様
な生物が生息しているな
どとして「環境保全のた
めにも埋め立て再伸長を
すべきではない」と主張
した。
被告側は答弁書を提出。
埋め立て免許延長の
許可に伴う郵送などの関
連支出は住民訴訟の対象
にはならないなどとして
却下を求めた。次回期日
は来年2月14日。

● 例会の報告(11/12)

● 参加地域 田布施、老、下松、周南、宇部

● 小中代表より

このように顔と合わせていろいろ議論することはとても大切なことだと思います。

昨日は次期象院選で2区から立候補される平岡秀夫さんに、2市4町議員連盟として申し入れを行いました。

平岡秀夫さんは上関原発にも、中間貯蔵施設建設にも反対するということでした。

岡田野専事も現地のことは現地にまかせるということで、推薦しても政策については覚悟して口をはさまないということでした。



● 現地のようす。小中さんより。

伐採やボーリングを進めているのではないが、先日、神戸から来た方を案内した時、上の中電の駐車場には車が10台くらい止っていた。しつこく帰りに見たら2台しかいない。よく見ると、木影の、見えにくいところに移動させていた。いつもそうだが、なぜ隠すのか不思議です。

下の敷地で警備員と話したら、この春の大雨で崖崩れがあり、敷地内は人が入れない程水が溜ったので、洪水が起らないような対策をしたと話していた。

沈砂池の黒いシートも新しいものに替えていた。これまで沈砂池の場合、ゴミは劣化も腐蝕もしないと言いつつ、黒い水が次に流れるのは鉱物によるものだとおっしゃっていたが、新しいシートに替えた理由が分らなくない。電力会社は平気で嘘をつく。

木を伐採するような業者が入っているのか、車の出入りが激しく細越から中電の駐車場入口まで

の道はかなり通りやすくなっている。しかし「集いの家」から下の道は崩れたりしている。

10月23日には神戸、明石から4人の方が見え、「私たちは周電の核のゴミを上関町に押しつけるのは反対です。」と上関町長に申し入れをされた。町長は会いました。

明石の人が明石も鯛が取れるが、海に潜っても、にぎって、鯛が泳ぐのは見えませんが、ここは透明度が高くて、潜ったう鯛の群が泳ぐのが見えた。こんな美しい海は絶対に汚らなければいけないと話しておられました。



「集いの家」から下の道は草がびびて大変、ネットで呼びかけたう山口市から若人が集りつけ下った感激、いっしょに草刈りをしました。

(4)

中電は自分たちの敷地のすぐそばまで全く草を刈らない。ガードマンに言ったら、こちらは町道だから私たちは草刈りはしないと云った。公共の道であっても自分の家のまわり、会社のまわりくらいやるのが当たり前と思っが、中電は本当に利己的だ。

↓ ネットで小中進さんのブログを見て下さい。
写真がたくさんあります。



● 11月25日10時〜柳井。26日13時〜宇部市で末田一秀さんの講演会をします。

末田さんのホームページを見ると、40年前からの活動がくわしくのっている。

元大阪府の職員で海の水質検査などにも当たっていて海のことにもくわしい。環瀬戸内海を副代表。

京都大学衛生工学科の九井孝志さんの時のある体験からすれば、いっ方向に変えることが出来るという確信を持ったという。

村馬には長い間の園りご、今回村馬市が最終処分地を断念した事にも末田さんの喜ぶは大い。

●10月9日に上岡町であった越智二さんの話もよかったです。

平生町は明治の初期に政府が平生湾を軍港にしようとしたのを、当時の住民が起ち上って猛反対した。それで軍港は上島に行ったという話をされた。先人はがんばっていたのだと知って感動した。私達もがんばらないと...

●署名について。

署名用紙を2枚続けてA3にしました。2万枚作りました。これをどんく活用して署名を集めよう。次の締め切りは12月末。

●新聞記事によると

●上岡町が10割に交付金の申請をした。



●共産党の県議が六ヶ所へ視察に行った。

三沢基地との近きに恐怖を感じたそう。

もしも、戦用機が再処理工場に突っこんだらう

...日本列島のみならず、台湾まで放射能が...

●使用済核燃料の放射能のことがよくわかってきたので、小出裕音さんにメールで質問しました。「使用済核燃料を10年たてて水から出したとき、放射線量はどれくらいのものでしょーうか、中性子線はどれくらい出ているの？」

「二重問くだった件、以下お答えします。使用済核燃料は10年だろうと20年だろうと、違いがなければ、膨大な危険物です。人が近づけば簡単に致死量の被曝をします。」

使用済核燃料から発生する中性子は、Pu-240の身子が大きく、その半減期は6570年で、このので減らないと回収できなくなってしまう。

つまり、キャスクの耐用年数50年以内には人が近づけば死ぬ程の死の灰がたまっているのだとわかりました。

つめかえるにはいったんキャスクごと水につけて解体して、新しいキャスクにつめかえなければならぬ、これを永遠にくり返すしかないということ...

裁判のこと。

祝島島民の会の裁判(第6回)
 ○2023年11月30日(木)
 10時30分

伊方原発運転差止め裁判(23回)
 ○2023年12月14日(木)
 14時

上岡原発用地埋立延長違法裁判(2回)
 (山口地裁)

○2024年2月14日(水)
 14時

○12月の山口地裁の裁判については↓P②③に。会計報告

2023年11月の会計報告 - 原発いん、山口ネットワーク

23年9月の報告の残高	253,116
収入 年会費とカン110	24,000.-
支出	
9月の報告作製、送料	38,828.
10月の "	42,112
10月の例会会場費	1,140
11月 "	1,400
署名用紙印刷	31,350
美浜の会4-フレット30部	852
署名用紙送料	1,260
振込通知料	330
振込料、切手	746
差引残高	118,018
	159,098

○カン110と年会費の振込みをありがとうございます。
 ○年会費は2000円です。振込口座01590-5-27469
 口座名「原発いん、山口ネットワーク」 会計 三浦 翠

11月29日、甲浦ビーチクリーン活動の様子。

大人6人、10歳未満の子供もたちらう4人。
 いっぱい天気で晴く、子どもたちの歓声を聞きながら
 楽しい時間をすごしました。

浜につくと間もなく祝島の川木村さんと清水さんの
 船がやって来て、潮が引いたので、すぐそばまで来て、
 柿一つがひもをつけて浜に投げられました。

ありかとういふと、言ったり今度はお祭泡スチロールに入っ
 た柿が海に浮かべられ、ゴツゴツのひもを引っ張ると、
 と。先ほどの柿に付いていたひもを引っ張るとお祭泡ス
 チロールに乗った柿がスーッと浜に落ちてきました。

「今日は午後祝島の運動会です」と言っ
 て、その日の船は祝島に帰っていかれました。

甲浦からも祝島小学校の校舎がよく見えました。

午後には橋本さん夫妻の船も近づいて来て、お話を
 かけあつてよろこびました。
 とても楽しい一日でした。



イベント情報

日 時	イベント	どこで	主催・連絡先
11/15 ~ 12/3	映画「福田村事件」	山口市 YCAM 一般 1400円 65歳以上 1100円 25歳以下 1100円 障害者 1000円	YCAM 083-901-2222
11月30日(木) 10:30	祝島島民の会の裁判 (5回)	岩口支部	
11月30日	中間貯蔵施設反対署名が次(めい)		
12月2日(土) 10:00~13:00	「中間貯蔵施設」の先E知る映画 無料上映会	アクトブ"やない	柳井E知る有線の 会 090-7596-3196
12月3日(日)	主催 上南の中間貯蔵を考える 周防市民の会	平野小学校 (行かれ方はtelを(か))	周防東連合自治会 080-5179-0747 #上
12月9日(土) 13:30~	六ヶ所村ラフォーティー 上映会	祝島公民館	ほひー-あいらんど 祝島 090-8069-5066 D34
11月30日(木) 13:30	同上	周防大島町橋総合 センター	周防大島有志 070-3865-2102 長谷川
12月3日(日)	「とめよう! 原発依存社会への暴走 1万人集会-うごかす先朽原発-」 in 大阪	うつほ公園	090-1965-7102 木原 壯 杯
12月9日(土) 10:30~12:00	2024. 上南原発を建てさせない山口大 集会 オール国実行委員会	山口市男女共同 参画センター、視聴覚室	080-6331-0960 安藤
12月10日(日) 13:30~	原発いらん! 山口ネットワーク 例会	周南市役所3階交流室 6	0820-55-6291 小 平
12月13日(水) 11:30~	朝鮮学校への補助金復活を! 反対会	県庁前広場	
12月14日(木) 14:00~	伊方原発運転差止の裁判(22回)	岩口支部	
2024 2月14日(水)	上南原発用地 埋立禁止住民訴訟 第2回	山口地裁	
3月23日(土)	上南原発を建てさせない山口大集会	維新公園 ゴッファシール	080-6331-0960 安藤

鹿児島県知事・県議会

川内原発20年延長の是非を問う 県民投票条例案を葬りに去る！

せんたい せんたい せんたい せんたい せんたい せんたい せんたい せんたい せんたい せんたい



県議会後、決意を新たにする県民投票の会の向原祥隆事務局長

はんげんはつ新南 2023年11月号

10月23日、鹿児島県議会議場。県議会には1000人を超える県民が詰めかけた。塩田知事「一知事よ、2020年の知事選で、川内原発の運転延長について一歩譲るに依りて県民投票を実施する」と公約。しかし、運転延長の是非を問う県民投票条例案を議会に提案した塩田知事の発言は、多くの県民を驚かせた。

「一歩譲るに依りて」の「一歩」は「一歩」ではなく「一歩」を「一歩」に置き換えて、地方自治法に基づく県民投票を実施しなさい」として、6月から準備を集めた。6月からの2ヶ月間で集まったのは5万筆以上。各市町村選挙管理委員会の審査を経て、4月6日12時限り有効とされた。法定数(2万6470票)の1.7倍だ。10月4日、わたしたちは県民投票条例制定を議決する要求。23日に県議会臨時会が開かれた。県民投票条例案の提案理由説明で、塩田知事は、「原発は安全対策、防災対策の充実、強化に取り組んでいる。専門家でつくられた原発安全・避難計画等防災専門委員会での九電の取り組みは適切と整理された」として、県民投票を実施しないこととして説明。その上で、県民投票条例案については、原発に関する県民投票条例が提案さ

岸田政権の原発回帰の裏に原子カムフラからの巨額献金？

しんぶん赤旗デジタル版より

2022年12月31日(土)

「原発ムラ」自民に6.3億円

「原発回帰」の背景に巨額献金

昨年 メーカー・商社・ゼネコン…

「可能な限り原発依存度を低減する」などとしてきた政府方針を覆して、新規原発建設推進や老朽原発の運転を認める「原発回帰」に大転換した岸田自公政権。電力会社や原子力関連の企業、研究機関、原発立地地域の自治体などでつくる一般社団法人「日本原子力産業協会」(原産協会、392団体)の会員企業が、自民党の政治資金団体「国民政治協会」に、2021年の1年間にあわせて約6億3800万円もの献金をしていたことが本紙の調べで分かりました。

政治資金収支報告書(21年分)によると、会員企業の献金で目立つのは、原子炉メーカー。すでに「革新軽水炉」の開発を手掛けている日立製作所は4000万円、ことし9月、北海道、関西、四国、九州の電力会社大手と「革新軽水炉」を共同開発すると発表した三菱重工業は3300万円。原発建設に使われる鉄鋼を供給する鉄鋼メーカーの日本製鉄は前年より700万円増の2700万円、JFEスチールも250万円増の750万円です。核燃料の調達をする大手商社は、三井物産、三菱商事、丸紅が各2800万円。

経産相の諮問機関「総合資源エネルギー調査会」の原子力小委員会の「革新炉ワーキンググループ」に、産業調査部参事役を委員として送っているみずほ銀行は2000万円。このほか、原発を建設するゼネコンは、鹿児島建設、大林組、清水建設が各1800万円など。会員企業の献金総額は、6億3794万2000円にのぼりました。

原産協会が会員企業を対象におこなった「原子力発電に係る産業動向調査」(今年6月1日~7月15日)によると、電力各社から会員企業への原発関係支出は、21年度、1兆7646億円です。

財界や原発業界の要求を丸のみして「原発回帰」を勝手に決めた背景に、年間2兆円近い膨大な原発マネーに群がる大企業の献金…。原発利益共同体と自民党との根深い癒着を示しています。

れた他自治体で「原子力政策は国策なので国が責任をもちて判断すべき」と多様な意見が二重反響を醸成。二重反響を醸成している理由として、県民投票を実施を否定した。10時間後に始まった質疑では、県議が「多様な意見が二重反響を醸成できない」との意見を質問した。これに対して、塩田知事は「運転延長に賛否を問う理由が多様で複雑な思いがある」ということを述べた。一復讐を思い、という部分は理解する。しかし、なぜこれが県民投票を実施しない理由となるのか。皆目わからない。24、25日にあった委員会審議でも、県議会最大公派の自民派は「長期的視野で議論がなされないまま、感情に基づいた意思決定が行われる」として決断を促す。二重反響を醸成した。塩田知事も自民派「県民はバカだからオレたちの決めごとには従ってほしい」という二重反響を醸成している。県民をバカにするのはいかがなものか。23日の開会日には、議事代表者を代表して3人が意見陳述。午後9時半近くの短い時間に、県民投票の会の向原祥隆事務局長が議場を仕向けた。「県民の意思を尊厳国家のように無視するのは、主権者の意思として尊重するのだから、まさに民主主義が問われているのです。昔い方も大勢署名に応じてくれました。この昔い方を否定し、無視することには鹿児島島の未来を潰すことになります。この鹿児島島の未来を若い県民とつづけていくために、歴史に恥じる誇り高い選択を期待します。」しかし、26日の本会議で県民投票案は否決された。「国策」として、県民の意思表示の機会を与えないというのであれば、速やかに原発を廃止すべきだ。非民主的な方法でしか動かせない発電施設は、民主主義「国家日本にあってはあり得ない」

関連する新聞記事

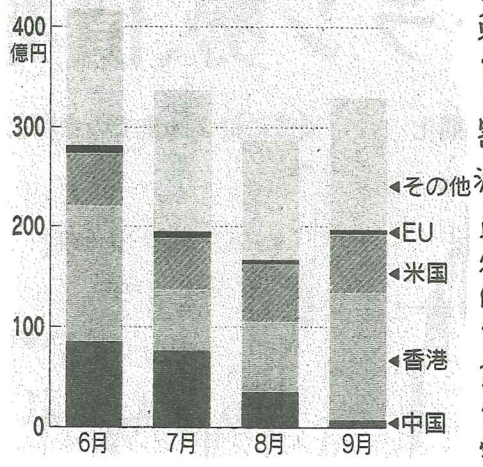
- (10/25朝日)処理水放出—AEAが調査。
- (10/26朝日)住民投票案条例案を否決。川内原発巡り鹿児島県議会。27日本会議で否決。
- (10/26日経)EU、風力産業に金融支援。
- (10/26日経)玄海原発活断層新知見を議論へ。
- (10/27朝日)廃液浴びた2人、除染のため入院。福島プールの汚染着けず。128日退院。
- (10/28朝日)処理水放出検証。中ロ側が初参加、AEA年内に結果。
- (10/29朝日)電力カルテル、中電提訴。
- 株主、賠償金の代表訴訟。
- (10/29日経)アマゾン、河川水位最低に。
- (10/23朝日)柏崎刈羽原発避難者に不安。防災訓練「実態に合わない」。
- (10/31朝日)原発を再稼働劇電が最高益。9月中旬決算。
- (10/31朝日)核のゴミ、日本に過地ない。日本地質学会研究者ら300人あまりを遣うねる。↓P⑨
- (10/31日経)新電力大手より安価。シェア17%。
- (10/31日経)東電純利益100億円上振れ。燃料安。原発再稼働で。
- (11/1日経)10ナマ運河水不足で決滞。待てる間13日ぬも。
- (11/1日経)高速炉開発の協力拡大。日本原子力機構と新鋭企業「テラパワー」。
- (11/2朝日)川内原発60年運転認可。規制委、九州電は初。
- (11/3日経)再エネ株マネー「逃避」。資産高。金利上昇で業不振で。
- (11/3日経)処理水、3回目放出開始。
- (11/5日経)原子炉建設の最上階を除去。福島第一原発2号機。プールに残る燃料65万の取り出しのため。
- (11/5日経)EU、COP27で要求。化石燃料、段階的廃止へ。
- (11/6朝日)長崎五島列島が国内最大級メガソーラー。春にも着工。地元では環境悪化を懸念。電気は海上に送られ、島は住民地みたいになると。
- (11/8日経)中華食料品のナモコ、フグ。中国需要急減。澳に打撃。水産物中国輸出9割減。船舶価格、最大4割上昇。
- (11/9朝日)原発再稼働。難者訴訟が和解。
- (11/10日経)「米国初」小型原発が稼働。
- 建設計画中止。
- インフレで資材高騰。
- (11/11日経)資材高騰。純利益40%減。処理水巡り中ロで低迷。
- (11/10日経)柏崎刈羽、スマイル許可待てぬ。
- (11/11日経)EUの自然環境30年に2割再生。食料安供給強化へ大筋合意。

新電力の販売量ランキング

1	東京ガス
2	エネット (NTT系)
3	ENEOS
4	大阪ガス
5	SBパワー (ソフトバンク子会社)
6	auエネルギー&ライフ (KDDI系)
7	CDエナジーダイレクト

(注) 23年5月の実績
(出所) 資源エネルギー庁

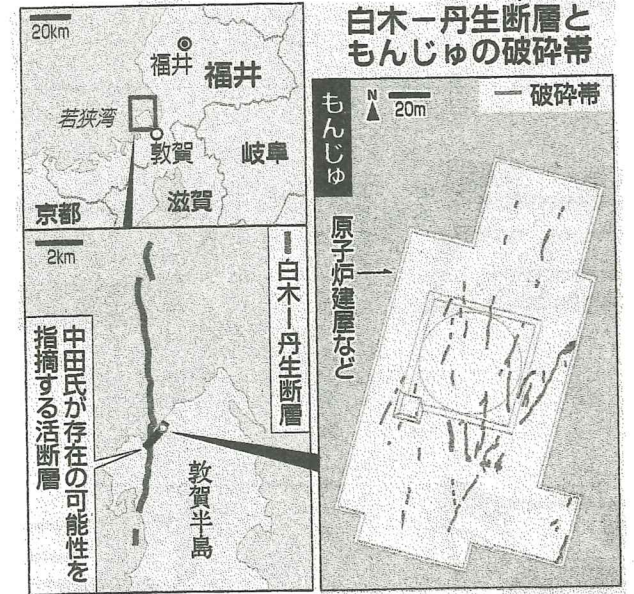
日本産水産物の輸出額推移



欧州連合(EU)の主要機関は9日、域内の農地や海森林都市などの自然環境を再生させるための新規制で大筋合意した。

- ### 「自然再生法案」が掲げる主な目標
- 2030年までに陸地・海域の2割に自然再生措置
 - 湿地や森林、河川などでの生物多様性の回復
 - 30年までにEU全体で30億本の植林
 - 都市部の緑地面積の維持・拡大
 - ミツバチなどの「花粉媒介者」の増加
 - 農業利用などで乾燥化が進んだ泥炭地を湿潤に

(11/11朝日)もんじゅ敷地活断層が、福島第一原発敷地の活断層を調査する。調査結果は調査報告書で発表される。



(11/12朝日)再エネ主力化停電。原発再稼働が視界に。太陽光発電の売却急増。出力削減大影響か。

- (11/14朝日)果の次世代(原発)建設中止。費用高騰。経済性見込めず。
- (11/14朝日)茨城県、原子炉設置者にも課税へ。
- (11/14朝日)自民、福島県議選で敗北。単独過半数割る。
- (11/15朝日)連合立民。口民の連携要請。
- (11/16朝日)温度ガス濃度、22年最高。
- (11/18朝日)再エネ規制。初の独自課税。宮城、森林保全へ。平地誘導。
- (11/19朝日)水産物輸入総額99%。中ロが9月に日本から。
- (11/21朝日)核燃料「仮置き」50年「青森」心づい「水素」懸念根深く。
- (11/21朝日)電力ファイナンス。送電へ弱。再エネ廃棄。
- (11/22朝日)電力ファイナンス。デジタル化推進に影響。

■地域の新聞記事

◎中間貯蔵施設関連の記事

- (10/26 中口)「中間貯蔵施設原発内に整備を」長崎大・鈴木達治郎教授に聞く。
「なぜ上関に、説明足りぬ」
 - (10/29 中口)記者の思い。上関は海がきれい。魚もうまい。ただ人口は約200人しかいない。しかも島市からほんのわずかな距離にある町の将来を思い、感じてほしい。柳井友寿 山本祐司
 - (10/29 中口)「中電の説明と県の関与が鍵」東洋大・中澤高師教授に聞く。早期に判断材料提示を。
 - (11/1 中口)中間貯蔵施設「情報不足」の指摘。中電社長「丁寧に対応」機密の周知に中電に。
 - (11/1 中口)上関町交付金を申請。中間貯蔵施設調査開始。
 - (11/2 中口)中間貯蔵施設住民理解に濃淡。上関町に建設構想発表3ヶ月。中電、個別訪問。町民は集会。
 - (11/4 中口)原子力委員会・上坂克彦委員長に聞く。「原子力と安定利用を上げる上関の計画は有意義」
 - (11/8 よみうり)中間貯蔵施設、知事に現状説明。後の記者会見で「村岡知事から周知が町長の理解を得るよう指示があった」と話したことについて村岡知事は8日「理解を得るよう」とは指し示していないと苦言を吐いた。
 - (11/21 中口)中電、上関の伐採延期。着手期限内に合わぬ。中間貯蔵施設周辺市町の反発など北青見解か。
- ◎その他地域の記事
- (10/28 日経)公共施設に太陽光設備、岡山・新見市。
 - (10/29 中口)財産収入が半減。中電配当激減響く。山口県22年良決算。11億9千万円減。
 - (11/1 中口)安全対策費900億円に、島根原発3号機追加工事で中電。
 - (11/1 朝日)中口電、課徴金70億円納付。
 - (11/1 日経)中口電、今期最悪高益に、100億円。燃料価格低下。
 - (11/6 中口)世界洋波の日、島根原発避難訓練。岩手やトイレ懸念を根強く。
 - (11/9 中口)黒字なら電気料金下げ。島根知事、中口電の中間決算めぐり。
 - (11/11 中口)瀬戸内の文化本と映画に、カマフラで巡る平生の原さんCF(クラウドファンディング)募集。400万円達成。
 - (11/14 中口)電力安定供給見直し、今冬中電NW予備率13%上昇。
 - (11/14 中口)ウエストが大型蓄電所計画、1.6ギガワット時規模。3万4000キロワット時規模。

- (11/15 よみうり)周南市市長徳本陽光発電事業環境評価準備書の綴らん及び説明会の開催。
- (11/22 中口)電気料金続く地域格差。中電、関電、九電より100円高。
- (11/22 中口)再生エネ発電事業、米「市」と事前協議を山石園市が事例案提出へ。

19/1 朝日

核のごみ「日本に適地ない」

原発の使用済み核燃料から出る高レベル放射性廃棄物(核のごみ)の処分地選びをめぐり、地球科学の専門家有志が30日、「日本に適地はない」とする声明を公表した。地殻変動の激しい日本では、廃棄物を10万年にわたって地下に閉じ込められる場所を選ぶのは不可能と指摘。処分の抜本的な見直しを求めた。

声明には日本地質学会の会長経験者を含む研究者、教育関係者ら300人あまりが名を連ねた。核のごみの処分手続きを定めた最終処分法は地下への「地層処分」ができる前提で2000年に成立した。

専門家ら「処分 抜本見直しを」

声明は「日本列島は複数のプレートが収束する火山・地震の活発な変動帯」と指摘し、10万年にわたり影響を受けない場所を選ぶのは「現状では不可能」と主張。最終処分法を廃止し、地上での暫定保管も含め、第三者機関を設けて再検討するよう求めている。

処分地選びでは、北海道寿都町と神恵内村で、3段階の調査の第1段階にあたる文献調査が大詰めを迎えている。

声明呼びかけ人の一人、赤井純治・新潟大名誉教授は会見で「科学的議論にふたをし、地層処分ありきで進められてきた」と話した。(佐々木英輔)

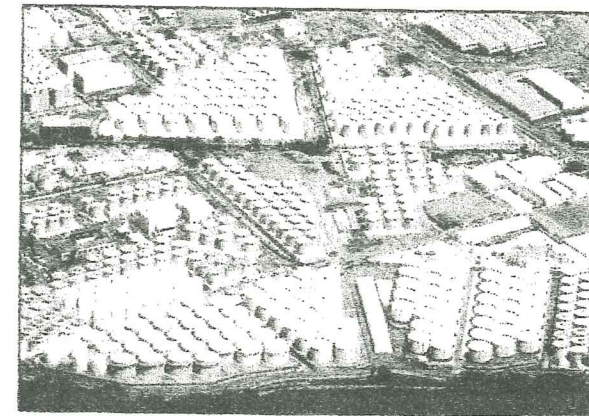


2310：目からウロコ

東京電力の汚染水 海への放流問題

8月24日、東京電力は1回目の放射能汚染水を7800t、太平洋に流す作業を行ないました。地下水と溶け落ちた核燃料の塊を冷やす冷却水とが混じり合った「汚染水」は、放射能除去装置・アルプスを通して、62種類の放射能が残っているとされます。この日本の行為に、中国はカンカンに怒って、日本の海産物の全面輸入禁止を表明、それによる損害はすでに1800億円を超え、東電はその賠償に追われることになりました。一番安い方法だった海洋投棄はえらく高いものになりそうです。

グリーンピースによると、1993年10月、ロシア海軍が核廃棄物を900t、ウラジオストック沖の日韓近海に捨てましたが、その時の言い分は「放射性物質の保管場所が不足・有害なものではない・国際規範に従った」でした。当時の日本政府はこのことに強く抗議し、保管場所の増設などに対し財政支援を表明しています。1972年に、海に放射能物質を捨ててはいけぬ国際規範・ロンドン条約ができていたのですから、日本の抗議は当然だったのです。今回は、福島の水産業者との約束も破って、関係閣僚会議で決めた暴挙です。記事を紹介するので、参考にしてください。アヒンサー



福島第一原子力発電所の汚染水保管タンク【2023年9月1日提供】。(CGTN Japanese)

日本政府と東京電力は各方面の反対を押し切って福島第一原発の汚染水の海洋放出を強行しました。これについて、福島第一原発の元技術者の小倉志郎氏はこのほど、中央広播電視总台(チャイナ・メディア・グループ、CMG)の取材に対し、「海洋を汚してそれを元通りにできない。できるだけ早く中止すべきだ」と述べました。

小倉氏は、

「海洋放出は大変な人類に対する犯罪だ。放射性物質が含まれている汚染水を環境に放出することは、一般の工業廃水を出すのと全く性質が違うことだ。汚染水が私たちの子孫にどのような影響が出てくるかは予測できないので、早く中止しなければならない」

と述べました。

2023年10月3日作成「アヒンサー」

福島第一原発元技術者 汚染水放出を 早期中止すべき

ヤフーニュースジャパン 9/1(金)

この記事を紹介する前に、題名にある「原発元技術者」の小倉志郎さんから届いたメールを紹介します。

【小倉志郎さんからのメール】

8/30に中国中央テレビのインタビューを受けました。それが中国国内向けニュースとして報道されました。その動画(1分27秒)です。【転送歓迎】



メールには、中国中央テレビが放送した動画がっていました。動画をスクショ(動画を写真にコピーする)した中の1枚が上の写真です。お話は中国語なので、日本語の記事があるかもしれないと思って探すと、やっぱりありました!

おそらく何億人もの人が観たでしょう、すごいことです! 次からが、題名の記事の内容です。アヒンサー

★

日中首脳会談2

1/20 中ロ

中国は質の高い発展と高水準の対外開放を推進し、日本を含む世界各国に前例のない機会をもたらす。両国は世界の自由貿易体制を確実に守り高水準の互恵関係を実現すべきだ。

福島原発の核汚染水の海洋放出は全人類の健康、世界の海洋環境、国際的な公益に関わる。日本側は、国内外の妥当な懸念を真摯に受け止め、責任ある建設的な方法で適切に対処すべきだ。

首相 日本に中国とのデカップリングの意図はなく、引き続き人的交流を促進する。デジタル経済、グリーン開発など様々な分野で実務協力を深めていきたい。

1/20 中ロ首脳会談